

改善すべき点などがある案件(全案件を掲載)

草の根文化無償資金協力

(注) 本リストは、外務省が改めて把握できる範囲で調査した情報に基づくものです。今後新たな事実が判明した場合には記載の内容に変更があり得ます。

No.	国名	案件名	G／C 締結日	完了日	案件概要	供与限度額	被供与団体名	問題・指摘の概要	原因	これまでの対応及び現状等	今後の対応・教訓等
1	モンゴル	モンゴル文化教育大学日本語学習機材整備計画	H20年2月14日	H20年12月24日	日本語学習機材の整備	¥1,683,624	モンゴル文化教育大学	H23年秋に学習機材システムに異常が発生し、機材が使用できなくなった。	機材故障。マスター・コンピュータの故障が原因らしいことが特定されたが故障原因は不明。	当初は機材を納入した会社が修理を行っていたが、故障の原因を突き止めることが出来なかった。 現時点では被供与先は導入した機材のメーカーと連絡を取ることができていないが、マスター・コンピュータ(及びそれに付随するプログラム等)を自前で入れ替えることで、状況を改善させることを検討中。機材納入業者によれば、マスター・コンピュータ以外の機材に故障は見られない由であるため、マスター・コンピュータ入れ替え後も、我が方が供与したその他LL機材は、引き続き利用する方向である。 なお現在当該LL教室では導入機材の一部を活用し日本語等の授業を行っているが、LL教室としての使用はできていない状態。	現地エンジニアの技術的水準が低いため、本システムの復旧に時間を要している。被供与先とも協議の上、直接メーカーに問い合わせし、早急に状況を是正するよう指示済。 是正後は、教師や生徒に機材の正しい取り扱い方を学ぶよう指示をするとともに、定期的に経過を観察する必要がある。
2	ハイチ	ハイチ国立大学理学部に対する流体及び水理工学実験機材フォローアップ計画	H20年2月7日	H21年7月30日	H11年度文化無償資金協力にて供与した流体及び水理工学実験機材のうち、機材到着時より欠損があったと先方からクレームのあった部品(蒸気エンジン実験装置の部品(水位計、プレーキベルト等))供与。	¥360,412	ハイチ国立大学理学部	本件による供与部品を設置しても当該実験装置は作動しなかった。	本件によって供与した部品とは別の部品(モーター)に、一部腐食が起っていたことが原因と考えられる。	現地大使館は、H21年にサイトを訪問、現状調査を行い、右原因の追究を行った。この調査を受け、被供与団体である大学理学部評議会は部品の購入を決定。担当教授が部品の購入先、価格等を調査していた。 しかし、H22年1月の大地震により同学部の実験室が被災。その後大使館より大学側に累次再建状況を照会、現場の確認を行い、実験室の天井の一部崩落や漏水当の影響で蒸気エンジン実験装置を含めた全ての供与機材が活動できない状況にあることが認められた。同大学では大地震によりほとんどの建物が全壊、今後の供与機材の保管場所及び実験室を含む校舎の再建の目処はたっていないかった状況を受け、H23年8月ハイチ外務省よりH11年に供与された機材及びH18年に供与された部品全てについて、廃棄処分の申請あり。 日本側としてH11年度供与機材は、震災前までは所期の目的通流体及び水理工学実験に概ね有効に使用されてきたこと、そもそも供与機材の復旧可能性が不明な中、当該機材の有効活用を引き続き求めることは被供与団体に多大な負担を強いることとなり、大学全体の再建の足枷になりかねないこと等に鑑み、先方政府の要請を承認。H25年1月に大学側がすでに供与機材を解体整理した旨確認。	今後、供与機材処分状況を確認。 教訓としては、当初、腐食の起こっていた部品に関しては、被供与団体の管理のあり方の問題を指摘し得るため、供与機材の十分な管理を行うよう指導やモニタリング等に努める必要がある。
3	シリア	イドリブ県の地方住民向け移動図書館車整備計画	H22年11月29日		移動図書館車の整備	¥4,887,530	統合的的地方開発基金/シリア開発基金	現地情勢悪化により、調達された移動図書館車を、車内の棚が未調達のまま、保管せざるを得なくなった。	現地情勢不安定化。	依然、現地情勢は不安定であり、現状把握は困難な状況。	現地情勢が安定した後、状況を把握し、対応を検討する必要がある。
4	コンゴ(民)	高等教育学院日・コンゴ交流センター整備計画	H24年2月29日		交流センターの建設	¥9,819,281	ACADEX教育グループ	案件完了の遅延	広い面積の建物に、支柱なしで屋根を架けるといった技術的な困難により、工事が遅延した。	H25年3月12日には、建物の完成式を実施。残る機材(例えば畳は、国外から輸入)の調達に時間を費している。	残る機材(畳、長椅子、黒板)の整備を含め案件完了まで然るべく指導する。
5	ペルー	ミラフローレス地区博物館における教育能力向上計画	H24年2月21日		博物館の増改築	¥9,948,064	天野博物館	案件完了の遅延	案件の実施に不可欠な地元ミラフローレス区役所発行の建設許可がおりなかったため、増改築の工事に着手できない状態が続いていた。	建築仮許可がH25年2月に取得できたので改築工事に着手。 今後、工事のプロセスにおいても、計画通りの工事が行われているかにつきフォローする。 今後は、案件を発注する建設業者を選定するに際し、見積もり価格が安いという点のみならず、建設許可取得の手続きについてノウハウを有する有能な団体であるかという観点からの確認にも留意する。	